

連続  
講座

# アメリカと日本の 子どもの本

## — その関係をさぐる

第二次世界大戦以後、アメリカ合衆国との関係は日本社会全体に大きな影響を与えてきました。子どもの本の世界も例外ではありません。この講座では、日本がアメリカの子どもの本をいかに受け入れてきたのかを3つの観点で考えることによって、子どもの本の本質に迫ります。

第1回 5月27日(土) 14:00~16:00

### アメリカの児童書の歴史： アメリカから贈られた子どもの本から考える

○1949年にアメリカから広島に寄贈された「ベル・コレクション」には、珍しいアメリカの児童書が数多くあります。その内容を紹介しながらの講座です。

\*参考テキスト「ベル・コレクション解題目録」500円

第2回 6月24日(土) 14:00~16:00

### アメリカから日本へ絵本がやってきた： 「岩波子どもの本」と「世界傑作絵本シリーズ」

○今でも読み継がれている「岩波子どもの本」(岩波書店)、「世界傑作絵本シリーズ」(福音館書店)を中心に、アメリカの絵本が受け入れられてきた過程で生じたさまざまな問題を取り上げて、現在の翻訳絵本状況を考えます。

第3回 7月22日(土) 14:00~16:00

### 『ちびくろサンボ』がたどってきた道： イギリス・アメリカ・日本

○イギリスの絵本『ちびくろサンボ』は、アメリカでイラストが変えられ、アメリカの作品となって日本に紹介され、後に絶版となり、また再刊されました。絵本『ちびくろサンボ』の評価の変遷について考えます。

講師



三宅 興子 さん

当財団特別顧問  
梅花女子大学名誉教授

児童文学研究者、絵本研究者。大阪生まれ。日本イギリス児童文学学会会長、絵本学会会長、日本児童文学学会理事などを歴任。2010年4月～2015年6月まで大阪国際児童文学振興財団理事長を務める。

〔主な著書〕

『イギリス児童文学論』翰林書房 1993年

『イギリス絵本論』翰林書房 1994年

『イギリスの絵本の歴史』岩崎美術社 1996年

『ロバート・ウェストール』

KTC中央出版 現代英米児童文学評伝叢書2008年 等多数

## 大阪府立中央図書館 2階大会議室

東大阪市荒本北1-2-1

近鉄けいはんな線(地下鉄中央線)荒本駅 北西400m

対象：子どもの本に関心のある方ならどなたでも

定員：各回 50名(申込先着順)

参加費：各回 一人1,000円

申込方法：HP、電話、ファックス

受講希望の回を明記してください

■ 主催：一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団 ※ 子どもゆめ基金助成活動



一般財団法人  
大阪国際児童文学振興財団  
International Institute for Children's Literature, Osaka

〈お問い合わせ先〉

〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北1-2-1 大阪府立中央図書館内

TEL 06-6744-0581 FAX 06-6744-0582

http://www.iiclo.or.jp/ E-mail:office@iiclo.or.jp